

11/29のグリーンフライデーに合わせて、  
サステナブルな消費を推進するシェアリングエコノミー協会および  
シェアサービス15社とともにロゴをグリーンに  
～空き家・空きスペースをシェアで長生きさせる～

あらゆるスペースを貸し借りできるマーケットプレイス「スペースマーケット」を運営する株式会社スペースマーケット(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:重松大輔、以下、スペースマーケット)は、欧州を中心に広がるサステナブルな消費を促す2024年11月29日のグリーンフライデーに合わせ、一般社団法人シェアリングエコノミー協会(以下、シェアエコ協会)とスペースマーケットを含むシェアサービス事業者15社(16サービス)が消費について考えるきっかけ作りとしてサステナブルアクション「GO GREENプロジェクト」を行います。

The graphic features a central 'GO GREEN' logo in large, bold, green letters. Above it, a speech bubble contains the text 'サステナブルなシェアを選択しよう' (Let's choose sustainable sharing). Below the logo, the dates '2024.11.25-11.29' and the hashtag '#グリーンフライデー' are displayed. The top and bottom of the graphic are lined with logos of participating companies: アイカサ, AnotherAddress, airCloset, airCloset Mall, おてつたび, きらり+ ライフサポート, CLAS, C-sata, SPACEMARKET, セカンド キャリア塾, タスカジ, NearMe, MEGLOO, unito, Laxus, Re:Cute, and SHARING ECONOMY.

#### ▼グリーンフライデーとは

大量消費を促す大型セールが行われるブラックフライデー(11月第4金曜日)に対して、欧米を中心にモノを大切に長く使うなど、サステナブルな消費を啓発する目的で行われている取り組みのことで。

#### ▼スペースシェアを通じたサステナブルな消費の提案

本取り組みは、消費にも選択肢が増える昨今、今一度「消費」について立ち止まって考えて欲しいという思いから、シェアエコ協会内でSDGs推進委員会主幹事企業であるエアークローゼットが企画したプロジェクトです。大量生産・大量消費からサステナブルな消費へ変化が叫ばれる一方で、ブラックフライデーのような大規模セールが存在し続ける世の中の「消費」に対して、サステナブルな選択肢の1つであるシェアサービスを世の中へ提案する、一石を投じる取り組みを目指しています。

不動産業界も例外ではなく、既存スペースを「占有」ではなく「共有」するスペースシェア市場が広がっています。野村総合研究所の調査(※)によると、誰も住んでおらず活用されないことのない空き家は2033年には1,859万戸と、4戸に1戸が空き家になると予測しています。これらの空き家をはじめ、眠ってしまっている遊休スペースをシェアすることで生まれる新たな市場に対して、社会課題解決の視点においても期待が高まっています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースマーケット広報(伊藤) E-mail: [pr@spacemarket.co.jp](mailto:pr@spacemarket.co.jp) TEL: 070-6461-7672

